# 真夜中の動物園

matu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

## 注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真夜中の動物園

【Ｎコード】

Ｎ９１３１Ｘ

【作者名】

ｍａｔｕ

【あらすじ】

近未来、人間は猿との交配でしか子孫を残せなくなった。人生の最期に自らが生きた証に子孫を残すべく尽力する男の物語。

# 光

自らの発展を最優先事項に挙げてきた人類にも、その代償を払う時期が来ていた。人類以外のどの種の生物も必要としない化学物質やらを、あちこちにばらまいたツケだろうか。環境ホルモンの影響による精子の形態異常が、数年程まえから世界中で見られるようになっていた。

その結果は実に厄介で人間の男女が交配をしても子孫を残せなくなり、生き延びるためのあらゆる可能性を見つけ出すことが至上命題とされた。

現在のところ、その可能性は2つしかないとされている。1つはクローンを創り、自分のコピーを後世に残すこと。もう1つはチンパンジーの卵子と人間の精子を交配させること。人類が生き延びるには、この2つしか道がない。

# 一

クーラーのよく効いた診察室で、男は瞬きをするのも忘れていた。医者の口から飛び出た言葉は男の耳に入ったはよいが、頭の中をぐるぐると駆け廻り、その勢いのまま何処へと去っていった。

男の表情から、言葉が脳に留まっていないことを察知した医者がもう一度繰り返す。

「落ち着いて、よく聞いてください。検査の結果・・・悪性の腫瘍であることが分かりました。残念ですが、元気でいられるのは、あと1年程でしょう。発見がもう少し早ければ・・・」

その後も医者は何やら続けていたが、男の耳は聞くのをやめた。

帰宅して食事を摂り、風呂に入り、床に就く。その間ずっと悲しみと絶望に支配されていたが、不思議と涙は出なかった。

田舎で暮らす両親とは何年も連絡を取っていない。久しぶりの電話で「あと1年で死ぬ」と告げたらどんな顔をするだろう。とか、工場の人間にはどう切り出すかをぼんやりと考えていた。

そのうちに、これまでの人生に意識が向いた。この男のそれは波乱万丈とは正反対の、極めて平坦な道のりと言えた。ドラマ化すれば1話で全てが完結しそうだ。

平坦なそれを振り返って初めて、男は己が為し得たものは無一だと気づく。残りの一年余りでせめて、生きた証のようなものが残せないか考えたが、何かモノを造ったところでそれが壊れればおしまいである。

男は突然、思い出したようにつぶやいた。

「こども・・・」

## ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9131x/

真夜中の動物園

2011年11月15日20時19分発行